コックスマアト 料理人手傳。 koksmaat
コンパス kompas.
コンスタープル 石火矢打並洋中にて碇綱支配人。 konstabel
コンスタープルスマアト 石火矢打手傳。 konstabelsmaat
○コップ kop
コテレット 英語のカツレツにあたる。 kotelet
コルヘット コルヘツト型の船。 korvet
コイフル 桶匠。桶細工人〔長崎土産〕 kuiper
キョルコ 栓。 kurk

L

ラックバザ 漆器見せ。 lak-bazar
ラアケン 織物の名。 laken
ランプ lamp
ランセタ 外科に用ふる針。 lancet
ランタアルン lantaarn
ラテン 羅典。 latijn
レイガトウル 舶來織物。 legature
レリー 出島阿蘭陀屋敷内に在りし倉庫の名。 Lelie
レイブル レーペル。食匙。 lepel
ロイトナント 平按針役。長崎土産。 leutenant
レーウー 獅子。 leeuw
リネン 織物の名。 linnen
リュクトポンプ 殺活車。排氣鐘。 luchtpomp
リュクトシキップ 飛行の器〔紅毛雜話〕 luchtschip
ロイアアルト 懶者。往時長崎に舶齎せる動物の名。 luiaard

M

マーガワートル 飲料の名。三浦梅園著歸山錄參照。 maagwater
マグネート magneet
マグネートステーン magneetsteen
マルメルステーン 大理石。 marmersteen
マルモツト 土撥鼠。 marmot
マルス 行進。軍隊用語。 marsch
○マタロス 水夫。 matroos
メーストル 外科醫を云ふ。 meester
マイド 侍女。紅毛人は丸山遊女をマイドと稱した。 meid
○メス 小刀。ないふ。 mes
メートル meter
ミクロスコープ 顯微鏡。 microscoop
ミリンカ 藥品の名。 mierikwortel
モルチール 砲の一種。 mortier
モール 織物の名。(例)金モール。 moor, moiré

N

ナールド 鍼。 naald
ネイデルラント 蘭國の名。 Nederland
ニゴーシイブツクホードル 商賣勘定役。 negotie boekhouder

O

オベリイ をべりい。菓子の名。花の形に搾へたるかすていら也。大さかぶとの鉢ほどあり。〔紅毛雜話〕 obliekoek oblie
オクタント 八圓儀。八分圓儀。 octant
オヒシール をひしーる。役人船役 officier
オリー 油。 olie
オレーフ 橄欖。 olijf
オリフワント オリハント。象。 olifant
オンドルメーストル 下外科。 ondermeester
オンス ons once
オップルホーフト 甲比丹。蘭館長。 opperhoofd
オップルメーストル 上外科。 oppermeester
オランエワートル oranjewater
オルゴル 自鳴琴。 orgel

P

○パア パアカ。馬鹿者に對して云ふ。 paauw
バックホイスメーステル 藏役。長崎名勝圖繪。へさる。長崎土産。 pakhuismeester
○バップ 腫ものなどを蒸して治療するために用ふるもの pap
バラデスホーゲル 極樂鳥。 paradijsvogel
○ペンキ 香瀝靑。 {pek {pik
ペン 英語のペンにあたる。 pen
ヘンネメス 英語のペン、ナイフにあたる。 pennemes
ペイブ パイプ。 pijp

○ピン pin
○ピストル pistol
プラン 地圖。長崎のプラシ。 plan
○ポンプ pomp
○ポント 俗に計量器を云ふ。 pond
○ポンス 橙菓汁。 pons
ポク 長崎にて濕病をボクと稱した。
スパンスボツケンの條參照。
ポーフル 菓子の名。 poffer
ポーフルチイス 菓子の名。 poffertje
ポツトロート 鉛筆。 potlood
プロイク かつら。髮。紅毛雜話。 {pruik / paruik}

Q

クワルテイルメーストル quartiermeester
端船支配並に水夫それぞれの場所へ遣す支配人
キナキナ きな。藥の名。 quinquina

R

ラケツト 紅毛羽子板。ラケツト。 raket
○ランドセル 背嚢。 ransel
○ラセン 織物の名。羅甸。 rassen
ロウベン 寶石の名。ルビー。 robijn
○ラツパ 瑠宇普流（ルウプル）。呼筒。喇叭。 roeper
ラウトアアルト 舶來鉛筆の一種。 roodaarde
ロート、ウエーン 赤葡萄酒。 rood wijn
ロハイ 往時舶齎貨幣の名。 ropij

S

○サアイ 織物の名。いま澤井と云ふ。 saai
○サーベル 劍。 sabel
○サフラン 植物の名。 saffraan
サアレツプ 植物の名。 salep
サアメンスプラアカ 會話。 samenspraak
シキイマン schieman
荷物入所並に表柱よりやりだし迄の支配人
シキイマンスマアト 同上手傳。 schiemansmaat
スケイプスチンメルマン schijpstimmerman
船大工。
スケツプル 船頭〔長崎名勝圖繪〕 schipper
○スコツプ schop

セクレタリス 上筆者。書記役。 secretaris
セルデレイ 飲料の一種。 selderij
シユリシヤ silesias
往時舶來織物。シユリシヤ島。
スランガステイン 蛇石。 slangensteen
スミツテ 鍛冶。 smid
スネイデル 縫物師。 snijder
○ソツプ 汁物。吸物。 sop
スパンス、ボク Spaansche pokken
往時長崎人は濕病をボクと稱した。
スパンスマアト 西班牙貨幣の名。 Spaansche mat
○スポイト spuit
藥液を注射して洗滌するために用ふる器。
スポールウエーゲン 鐵路。鐵道。 spoorwegen
スタメン 往時舶來織物の名。 stammet
ステレキ、ワアテル sterkwater
aqua fortis を云ふ。猛水また大王水〔萬國管窺〕
○ストツペン stoppen
止まれ。俗に山の巓をストツペンと云ふ。
ストームボート 汽船。 stoomboot
ストロイス、ホーゲル 駝鳥。 struisvogel
ステユールマン 按針役。 stuurman

T

タルタ 菓子の名。 taart
○ターフル 卓子。西洋料理。 tafel
タンブール 樂器の名。 tamboer
テレスコウプ 遠目鏡。望遠鏡。 telescoop
テリヤンゲル 樂器の名〔長崎名勝圖繪〕 triangel
テルモメートル 升降水。昇降器。寒暖計。 thermometer
テーゲル 虎。 tijger
テーゲル膏 檜林家の製法に係る膏藥。 tijger
ティンムルマン 大工。 timmerman
トウフルランタアル 影繪燈籠。妖燈。〔蘭說辨惑〕 tooverlantaren
トロンムル 太鼓。 trommel
トロンベツト 喇叭。 trompet
トロンペツトル trompetter
喇叭吹き。チヤルメラ吹。〔長崎土産〕
テウエーデ、ペルソーン tweede persoon

甲比丹の次席。ヘトル役。

U

ウールウェルク　時計。　uurwerk

V

ヒヨヲル　樂器の名。英語のヴァイオリンにあたる。　viol
○フラフ　旗。　vlag.
フラッカマン　旗役。〔長崎名勝圖繪〕　vlaggemau
フラッカナーヰル　旗縫。　vlaggenaaier?
ホーゲル　風五郎。鳥を云ふ。　vogel
○ホコ　肉さしを云ふ。ホルコ。　vork

W

ワルトホールン　曲り喇叭。　waldhoorn
ウェイルガラス　晴雨計。　weêrglas
ウェースホイス　ウ井スホイス〔紅毛雜話〕。幼院。孤兒院。　weeshuis
ウェンロイト　ヘンルーダと訛りたるもあり。芸香。　wijnruit
ウィントケン　ウ井ントケン。風見。〔長崎名勝圖繪〕ケンは見にして蘭語に非るべし。　wind見
ウィントルウル　風鐵砲。空氣銃。　windroer
ウォールデンブック　字書。辭書。　woorden-boek

Z

セイルマーカル　帆役。　zeilmaker
スポート　ドロップス、スウト、ポウト。蘭說辨惑。甘草膏。　zoet hout, drop van zoet hout
○ドンタク　日曜日。西洋日曜日。　zondag
西洋ドンタク。土曜日を俗に半ドンと云ふ。
ソンネウェイセル　日時計。　zonnewijzer
スウトハット　切子やうの食鹽容器。　zoutvat

西班牙語

○アナナス　鳳梨。葡、ananaz 蘭、英、佛、獨 ananas　ananas
○ザボン　朱欒　{azamboo / azamboero}　zamboa
カスチリヤ　千系臘氏。西班牙を云ふ。　Castilla
チヨス　寮氏。天主。　dios
エスハンヤ　西班牙。　España
○メリヤス　めりやす。　medias
オブセルバンシヤ　フランシスコ派の一派。　Observancia
○ササフラス　植物の名。　sasafras
葡語 sassafraz. 近世羅典、蘭、佛、獨、英sassafras
ビゾレイ　副王。　visorey

羅典語

羅典語のうちには、博物、藥品、學術等の名稱及び病名などが甚だ多い。紙面の餘裕なきを以て僅に數語を擧ぐるに止めておく。

アニマ　精魂。靈魂。　anima
アグヌス、デイ　天主の羔。　agnus dei
アベ、マリヤ　天使祝詞。ガラスサ〔ガラサの訛〕とも稱した。　Ave Maria
アミヤントス　火浣布。　amiantus
アロエ　蘆薈。　aloe
○アルス　藝術。近來流行してゐる言葉である。　ars
バブチスマ　洗滌。洗禮。　baptisma
バシリ　ungentum basilicum
コンセンシヤ　心。良心。　conscientia
コムニヨ　通功。　communio
カルシウム　加爾曳母。　calcium
デウス　天主。天帝。神。　Deus
ドウミヌス　御主。おんあるじ。　dominus
ドクトリナ　教。學問。　doctrina
ドネス　與へ。賜物。　dones
トウフル散。　pulvis doveri
○チギタリス　植物の名。　digitaris
西曆一五四二年 Fuchs の命名した植物。
ドミニカ　主日。安息日。　dominica
エピストラ　ふみ。文。書狀。書翰。　epistola
エケレシヤ　會。聖會。　ecclesia
エキセ、オフモ　見よ、人を。　Ecce Homo
エキス　越幾斯。越幾私。　extractum
エキスは羅典語 extractum の ex のみを採り殘りの文字を省きたる發音である。広篤兒藥性論には越幾斯また は越幾私と云ふ言葉が見ゆる。エキスは英語extractの略稱であると云ふ說には贊成し兼ぬる。
ヒイデス　信德〔聖教初學要理參照〕。信仰。　fides

ガラシア　聖寵。惠み。　gratia

グローリヤ　グロフリヤ。名譽。ほまれ。榮福。gloria
　グローリヤ、イン、エキセリス。至極のほまれ。無上の榮福。gloria in excellis

ユウスチシヤ　權謀。判斷。　justitia

キリエ、イレイソン　主よ、憐みを垂れ給へ。Kyrie eleison

ミゼリコルデヤ　憐み。不便。慈悲。　misericordia

ミジリメン
　Miserere mei Deus と唱ふべきものである。然るにミゼレレ、メイをミジリメンとなまりたるものに外ならぬのである。

オラシヨ　いのり。祈禱。經。　oratio

オクリカンキリ　於久里加伞木里。　oculi cancri

オレア油。　olea

ハアテル、ノウステル
　ハアテル、ノフステル。主禱文。　pater noster

ヘルソウナ位。　persona

ポウテンシヤ　司。力。威勢。威光。　potentia

レス、サアクレ　聖物。　res sacra
　總て宗門之道具貴き物は何に不依れいす、さあくれと申候由申候。〔邏媽人欵狀〕

サピエンシヤ　深慮。　sapientia

センシヤ　分別。　scientia

スブスタンシヤ　實體。　substantia

サルベ、レジナ　Salve Regina
　往時潛伏吉利支丹の間に「憐み」とも稱した祈禱文である。

サポ　石鹼。　sapo

セメンシーナ　攝綿支那。　semen cinae

テ、デウム　ラテン語讃美歌の一。　Te Deum
　この讃美歌のはじめに Te Deum laudamus 爾天主を我等は讃美す（Thee God, we praise!）とあるので然か名けたのである。

チモル、デイ　天主を大切に畏れ崇むること。Timor Dei

。**チンキ**　丁幾。
　チンキは邏典語 tinctura の始四文字の發音に外ならぬのである。瓜鴬見槳性論に健質亞那（ケンチアナ）丁幾、實吉答利斯丁幾その他多くの丁幾類が擧げてある。

東印度語其他

アレシヤ　往時舶來織物の名。長崎蟲眼鏡參照。
　Capt. John Saris 日本航海記 The Hakluyt Society 刊行。に allyia と云ふ語見ゆ。そして同書註釋に　Said to be a silken stuff from Turkestan (Yule and Burnel, s. v. Alleja) とある。

。**アマ**　長崎にて西洋人の家庭に子供養育のために雇はるる婢または乳母を云ふ。
　アマは Anglo-Indian 語の amah に外ならぬのである。amah は元來葡語 ama にあたる。往時葡萄牙人が東印度地方にて土民の女を下婢としてまた乳母として雇入れ之を ama と稱したのであつた。そして此言葉は土民間にひろく用ひられ一つの歸化語のやうになつた。のち英米人などが東印度地方にてこの語を用ひ日本に渡來しても洋館雇ひの女に對してアマと云ふ言葉を用ひたのであつた。長崎にてアマと云へば、西洋人の家庭にて子供の世話をする雇女を云ふので、普通の下女とは別者である。それでアマは、純葡語でなく、Anglo-Indian 語として取扱ふべきは勿語である。

アラキ　強き酒にして燒酒の類。紅毛人は瓜哇產のものを舶齎した。現時にてもアラキは瓜哇の名產の一と謂ふべきものである。
　マレイ語 árak ジャワ語 árak スンダ語 árak バリ語 bárak ランプン語 árakh アラビヤ語にて araq と云ふ。葡語 araca 蘭語 arak 英語 arrack などは東印度語より輸入されたものと考へたい。

アンソク香　安息香。
　安息香の安息は、支那語にてペルシヤ語の arsak の音を寫したものである。
　モト古ノ波斯ノ國名ナリ。波斯、暹羅、スマトラ等ニ產スル安息香樹ヨリ生ズル脂汁塊ヲ安息香トス。高楠順次郎氏の說。日本外來語辭典。

アガール　沈香。アガール〔譯司長短語〕。阿迦嚧香〔大和本草〕
モール語 agāl Skt. aguru Hind. aghil L. agallochum

○**アヘン**　阿芙蓉。阿片。鴉片。
アラビヤ語 afyūm, Hind. 語 aphim, afim afyūm.

○**アニオー**さん　王后。女王を意味す
アニオーは安南語の王娘 vu', o', ng nu', o', ng のなまりと思ふ。「王娘」は安南語にて王后女王を意味す。佛人は「王娘」をreineと譯して居る。
長崎の人荒木宗太郎が安南國阮氏の女を妻とした。これをアニオーさんと云ふ。また長崎の人津田又左衛門も暹羅國王の女を妻としたと云ひ傳へてゐる。これも亦アニオーさんと云ふ。
アニオーさんが安南國より長崎に渡り來て大波戸より上陸するさまに擬した諏訪神事踊が往時行はれてゐた。これをアニオーさんの行列と云ふ。婦女などの美々しく着飾り侍女を伴ひて外出することを俗にアニオーさんノ行列ノゴタルあにおーさんの行列のやうだと云ふ。

○**アワモリ**　泡盛。唐商賣往來。
Nepal 語 awamuri なりと云ふ。日本外來語辭典參照。

バフタ　往時舶來織物の名。印度語バフタPersian-Hind.語として取扱ふべきものであらう。
ペルシャ語baft. Hind. bafta 英語 baftah, baffeta, boffeta, bafta, baft. The Century Dictionary 參照。
Linschoten 東印度航海記にはBoffetasと云ふ語が見ゆる。Capt. Saris' JournalにはBaftasとある。

○**ボタ**もち
Mysore *bhatta*, Bombay *bhatta*, Man. *buda* 飯團餅。牡丹餅。ベタモチ。bhatta, buda は米を意味す。日本外來語辭典。松村任三氏の說參照。

○**ベンガラ**　酸化第二鐵。顏料の名。
Marco PoloはBangalaと記してゐる。Vasco de Gama は Bengalaと綴つてゐる。Linschoten は Bengala と書いてゐる。
葡語bengala、英語 bengalはベンガラ國產織物の名となり固有名詞より轉じて普通名詞となりベンガラ產織物を意味す。それは長崎にてベンガラ島と稱する織物に該當するやうである。Skt. Banga

カナキン　金巾。
葡人は十六世紀の初葉にQuamdaquyと云ふ文字を用ひてゐる。これはもと Malır. 語 khandaki に據つたものらしく思はれる。Hakluyt Socieity 刊行 Linschoten東印度航海記註解參照
葡語caneqim英語cannequin, candaquin Capt. Saris 航海記。candakeene 同前 candaquene同前。
要するにカナキンの原語は印度語と考へたい。

○**カアサ**　カアサ木綿。
英語 cassa Linschoten 航海記參照。葡語 cassa.
元來印度語なるべし。

チャンパ　占城。後印度のChampa を云ふ。占城の占のみチャンの音を寫し城は寧ろ都と云ふ意味に採りたい
Hind. champa Skt. champaka は元來樹木の名稱なりと云ふ。

チャボ　形狀小さき鷄。矮鷄。**チャモ**
原語未考。一說にこの鷄はチャンパ國より傳來のものならんと云ふ說もある。言海參照
またチベット語 chamo〔鷄〕にして、シャモも亦同語源に屬すと云ふ說もある。松村任三氏の說。日本外來語辭典參照。

チャウ　茶宇。Chaul
チャウ島織物の名。チャウは印度のChaulの名稱に外ならぬものである。

チョロけん
チョロけんのチョロはChaulでけんは絹であらう。

チンツ　皿紗。更紗。
印度語chint蘭語chintz英語chintz葡語chita
チンツはHind.語のchint に起りたる言葉で即ち「彩れる」を意味す。紅毛人が長崎に舶

齋した更紗は、紅毛語にてはchintzと稱したものである。

キガン　往時舶齋の織物。長崎にて俗にキカンじまと云ふ。月堂見聞集にもキカンじまとある。
ging-gang マレイ語 guingão 葡語 gingam 蘭語。
gingham, gingam, ginghem, guingam, 英語。

○**ジャガタラ**
Jacatra, Jakatra. 咬𠺕吧の條を見よ。

○**ジャボン**　ジャボ。長崎夜話草。朱欒。ザンボ。大和本草參照。ザボンとも云ふ。
元來Skt. jambu, jambūである。英語 jambo, jambū. 葡語 jamboa. 西班牙語 zamboa. 長崎にてはジャボンとザボンと二通り發音するのである。ジャボンと云ふ言葉は葡人或は東印度地方の黒坊の傳へたものであらう。ザボンは寧ろ西班牙人の發音であらう。
Linschoten の航海記にも jambo の複數など見ゆる。Dalgado 氏は「葡語の亞細亞語に及ぼせる影響」に於てZamboaと云ふ語を擧げてはゐるが、自ら？點を附けてゐる。Dalgado 氏はジャボンを長崎にて發音することを知らなかつたと思はれる。

ジンク船。　唐人船型の船を云ふ。元來ジャバなどにジヨンクと稱したるものにて今は歐米諸國語に用ひられてゐる。
Jav. djong Mal. adjong. It. giunca. Eng. giunche, junk Pg. junco. Sp. junco

ジュレバッサ　jurebassa通譯 Malayo-Javanese 語 jurubahāra のなまり。
Richard Cocks 日記に見ゆ。jurubahāra は language-master 即ち「言語に通達せるもの」を意味す。

○**クネブ**　枚年母〔譯司長短話〕。九年母。長崎にて單にネブと略稱することもある。
Hind. kumla-nebu (nibu) Beng. kamla-nebu, Gujarati. nimbu 日本外來語辭典參照。

○**キャラ**　沈香の一種。伽羅。伽藍。迦羅。　**カラ**
Skt. kāla aguru kālaは黒色を意味す。aguruはモール語 agāru と同じく沈香を意味す。
アガールの條參照。

カランバーキ　椅楠、カランバーキ〔譯司長短話〕
モール通詞魏五左衛門はその著譯司長短話に於てカランバーキをモール語として擧げてゐる。The Century Dictionary には英語calambacを擧げてペルシャ語のkalambakを記してゐる。A New English Dictionary 掲載に係るCalambacの項の引用文一五五二年Barros' Decades d' Asia I. IX. 1 (transl. Yule)に Campa, in the mountains of which grows the genuine aloes-wood, which the Moors of those parts call Calambucとある。

カルパ　咬𠺕吧。訶陵。
紅毛人は咬𠺕吧をKalapaと記してゐる。咬𠺕吧はもともとジャワ語のklápaの音を寫したものであらう、klápaは椰子を意味するのである。Jawa klápa, Maláyu klápa, Sunda klápa Lampung klápa. 即ち英語のcocoa nut即ち椰子を意味するので、咬𠺕吧は椰子の邑とでも謂ふべきものであらう。
カルパはジャワ島の一邑なりしが、後ジャカトラとなり、更に一六一九年に至り紅毛人がこれをBataviaと改稱したのであつた。併し其後に至りても長崎にてはジャガタラと云ひ、來舶唐人は咬𠺕吧と稱してゐた。

○**カボチャ**　Cambodia, Kamphuxa,
マレイ語Kambōja. 俗にカボチャと云ふ。長崎にてカボチャと云ふ言葉は南瓜を意味す

○**ラオ**　羅宇。老撾。國名。Lao.
キセルの竿にラオ國産の斑竹を用ひ、之をラオ竹またはラオと稱した。轉じてキセルの竿に用ふる竹をラオと稱するに至つた。

○**マアカン**　西洋料理の料理人。

○**マアカン部屋**　洋食を調理する室を云ふ。
マレイ語makan 即ち食事を云ふのである。長崎にては洋館或は洋食店の料理人をコックまたはマーカンと云ふ。マーカンと云ふ言葉は普く行はれてゐる。そして料理部屋をマーカン部屋と云ふのである。此等の言葉は徳川幕府時代に於て行はれ以て今日に至るのである。

マタフ　又布。往時舶來織物の名。

一九〇〇年ロンドン版 The Voyage of Captain John Saris to Japan, 1613 Hakluyt Society 刊行には matafons と云ふ織物の名を擧げ、其註釋に Valentijn mentions matafons of Bengalanong goods imported into Japan, but there is no such word among the names of Bengal piece-goods given by Milburn と記してある matafons とあるは、matafous の誤りで即ち matafou の複數であらう。一八四三年アムステルダム版 Nederlandsch Handelsmagazijn には matahu と云ふ織物の名が見ゆる。要するにマタフは元來印度語であらうと思ふ。

モール　莫臥爾。Mogul印度國名。
Mogulは元來Mongolのなまりである。
オツクスフオルド版新英大辭典參照。

○**ハルシヤ**　ペルシヤ國を云ふ。ペルシヤ國産の革を俗にハルシヤと云ふ。
O. Pers. Pārsa. Pers. Pārs. Ar. Fārs.

○**巴旦杏**
巴旦杏の巴旦は Patani 國名に外ならぬのである。

ベク漆　可カルシ。ベク漆のベクは印度のPeguを謂ふ。ベグウ。琶牛。

サゴビイ　沙菰米。菰米。沙谷ビイ。サンゴビイ。サンゴヘイ〔大和本草〕西國米。西固米。マレイ語 sagu に該當す。
マレイ語 sāgū. F. sagou, Sp. sagú, Pg. sagu, It. sagu G. sago. E. sago 典籍便覽云。沙菰未樹皮如中國葛根。搗浸澄濾。取粉作丸。如菉豆大。晒乾而賣之。可食。出滿喇加國。○國俗さんごへいと云。俗に西國米、西固米などと書は非也。煮熟して食す。大和本草。

○**サラサ**　皿紗。更紗。印華布〔倭漢三才圖會〕紗羅紗。華布。
Hind. sarasā マレイ語 sarásah 葡語 saraça 英語 sarasso Linochoten東印度航海記。印度語 sarasā は「優秀」を意味するのである。
長崎にては皿紗と書きまた更紗と記すのであつた。現時は更紗と云ふ字が普く行はれてゐる。サラサと云ふ言葉は元來印度語である。それが葡語や英語などに輸入されたものに外ならぬのである。

サラタ　皿多。
往時舶來織物の名。印度の Surat 國名を以て織物の名としたものである。もともと「サラタじま」と稱してゐたものであらう。英語にも surat と云ふ普通名詞がある。それもやはり印度の Surat 國の名を採りたるもので、綿類を意味す。

サンダル　モール語。
紫檀、カラ、サンダル。烏檀、ジア、サンダル。白檀、スピツ、サンダル。魏五左衛門自筆本「譯司長短話」
Arab. ṣandal. Skt. čandana, Hindi čandan

セイラスじま　往時舶來織物名。長崎蟲眼鏡、紅毛談參照。
英語 selas, sellas〔Capt. John Saris' Journal〕cheylas Linochoten東印度航海記。zelas, 元來 Hind. 語 sela. Tamil 語 silai より歐洲語に輸入された言葉であると考へたい。

シヤモ　暹羅鷄。大和本草。
鷄の一種にシヤモと云ふは、暹羅國の名を採りて鷄の名稱としたものであらう。暹羅人は自らその國名を Mûang-Thai と稱してゐる。古名を Sajám (race bruneを意味す)と云ふ。それより Siam と云ふに至りたるものであると云ふ說もある。またSham 種族の名稱に據れるものとも云ふ。

トロめん　往時舶齎織物の名。兜羅綿。妬羅綿。祀子。褐子。赤色木綿。
Skt. tulu. tulu は一般に花木の花絮を云ひ特に兜羅と稱する綿花を云ふ。
天正慶長年間ノ節用集ニ此語見エ弘治年間ノ節用集ニハ「赤色木綿」ト註セリ。サレバ印度現時ノ simara ト稱スル綿樹ヨリ取レル綿花ヲ指スカ。此樹ハ赤色ノ花ヲ開キ綿ハ絹糸ノ如ク風ニ飄リテ落ツ。日本外來語辭典所載高楠順次郎氏の說。

トウロウニイ　哆羅絁。

唐話纂要に哆羅絍と云ふ語が載せてある。そしてシヤウ〳〵ヒと說いてある。それから哆羅絍の上二字左側に「此字恐誤」とある。併し哆羅絍でも差支はないと思ふ。Capt. John Saris 日本航海記に支那織物として Toloney Sasocke と云ふ名稱を擧げてゐる。Wells Williams はトロニイは支那語に非るべしと考へてゐる。The Hakluyt Society刊行セイリス日本航海記參照。なほ唐話纂要に哆羅絨 ラシヤ と云ふ語も見ゆ。

ドンゴロス　粗布の一種。丈夫な粗い布である。商品なつつんだり、テントや日蓋ひに用ひなどする。

英語 dongeryus, dungarees, dungaree.

一六一三年 Capt. John Saris 日本航海記六二頁に dongeryus と云ふ言葉が記してある。往時印度語 duugri が英語を經由して我國に歸化したものであらう。現時英語にては dungaree と云ふ。

ドンゴロスと云ふ言葉は、長崎にて、普く行はれてゐる。ひとり長崎ばかりでなく神戶や橫濱などにも長崎より流行して用ひられてゐると思ふのである。併し言海、辭林日本外來語辭典などには記載されてゐないばかりでなく、外來語硏究家間にも注意されてゐないやうである。

ムレウ　無量。織物の名、七絲緞。

一六一二年七月十二日バタニより平戶にて Hasewint 號にて舶載せる阿蘭陀東印度會社の商品目錄 大日本史料一二編の一〇 に violette molleaux, grau molleaux など云ふ名稱が見ゆる。ムレウは即ちこの molleaux に該當するものと考へたい。長崎來船の唐人は帽料とも稱した。英人は murey と云ふ言葉を用ひた。これは古い佛語の morée に起れるものと考へたい。

ダーレスじま　往時舶來織物の名。

英語 daoulas, doulas, dowlas.

オックスフォード版新英大辭典には Named from Daoulas or Doulas, S. E. of Brest, in Brittanyとある。現時英國にては dowlas と云ふ。

長崎市史風俗編上卷正誤表

頁	行	誤	正
一二	二	盛んにに	盛んに
一三	三	こゝも	こゝを
三二	五	kaneel koekji	kaneelkaekje
三二	八	セエーフル	セネーフル
四〇	七	Cerqneira	Ce:queira
四四	六	檍山	樫山
五九	四	かてから	こてから
六三	六	(zenon)	抹消
八五	六	rités	rites
九七	五	charmela	charamela
一〇〇	一三	裝束てに	裝束にて
一〇三	七	會議所	會所
一〇七	三	Jebies	*Iebies*
一〇七	三	zekere, spijze	zekere spijze,
一〇七	四	besoek	bezoek
一〇八	10	知友人	知音
一一〇	三	長崎奉行初社　參	長崎奉行初社參
一一三	三	日本記事	日本紀事
一一三	六	いたゝき	いたゞき
一一五	四	vligers	vliegers
一一八	1	met opteksel van thee en al...	met aftreksel van thee en zoethout. Vroeg in den morgen begeven zich meest al...
一二八	四	reiningsfeest	reinigingsfeest
一二四	10	of Tod	of den Tod
一二四	11	7den tot den 17den	7den tot den 17 den
一二九	1	瑠璃催	瑠璃の催し
一三一	一三	諏訪大神神	諏訪大明神
一三三	一一	威德寺	威福寺
一三七	三	解釋しやうが	解釋のしやうが
一六三	一三	云ふたのである	云ふのである
一七三	九	The	Un
一七三	10	vouturent	voulurent
一七三	11	abime	abîme
一七三	一二	as	sa
一七三	一四	tont	tont
一七三	一四	conperai	couperai
一八二	三	延寶庚申八年	延寶八庚申年
一九二	一七	hunue	hunne
一九九	一三	町寄	町年寄
二一九	10	崎陽詳談	崎陽群談
二二四	八	にても	にも
二二五	1	か	が
二三〇	一四	紙鳶揚げ	紙鳶揚げ
二三三	一一	padagaio	papagaio
二三八	一三	てひ	て
二三九	六	侯崎一覽	侯鯖一覽
二四四	三	繁に	繁々
二四四	五	Stanford	Stamford
二六四	九	whitney	Whitney
二六五	一四	oplateu	op!aten
二六五	一五	vier-kant	vierkant
二六六	七	杉田成卿	杉田成卿
二六八	三	*s' agissait*	s' agiosait
二六八	三	chevaus	chevaux
二六八	五	endue	rendue
二六八	九	emporté' par.	emporté par
二六八	10	courcunèe	couronnée
二六八	一四	Chaytilly	Chantilly
二七七	10	j. g. Scheuchzer	J. G. Scheuchzer

頁	行	誤	正
二三八	七	Catuber day	Cataber-dag
二六〇	五	ウエ	ウエン
二六〇	六	第六行全部一字分だけ下ぐる	
二六〇	六	第六行目上部二字アキ	
二六一	四	記掲	掲載
二六四	三	Pappenberg	Papenberg
二六九	三	厭	壓
二七一	一四	Som	som
二八一	一	Japans	Japons
二八二	八	*rio Riota*	*rio riota*
二九五	二	のも	ものも
二九六	一五	Shinensis	Chinensis
二九七	二	It was the Island…	It was seated near the Island…
二九八	一	傳記	傳説
二九八	二	而白い	面白い
二九九	六	Atlas Japanensis	Atlas Japannens:s
三〇〇	一五	陸手の	陸手の町々の少年の間にも流行するやうになつたものであらう
三〇一	二	丹赫	丹躪
三〇三	一五	特棄	持棄
三〇五	一四	三十四人	三十五人
三〇八	七	八人	七人

頁	行	誤	正
三〇八	七	十三人	十二人
三一四	七	扳	板
三一四	一四	Chambrelian	Chamberlain
三一四	一五	All Souls, Day	All Souls' Day
三一五	一	All Souls Day	All Souls' Day
三一六	一五	「往時は」より以下行を改むべきもの	
三二〇	一五	Illustration	Illustrations
三一〇	一五	Bouts-dan	*Bouts-dan*
三二一	二	*Kaya*	*kaya*
三二一	三	millets	millet
三二四	二	Fiescher	Fisscher
三二九	五	用ふものあり	用ふるもあり
三三三	一四	branden	brandende
三三三	一三	Jaaren	Jaren
三三四	五	イルミネナテイ	イルミナテイ
三三四	三	cimètieres	cimetières
三三四	一三	avoisinants	avoisinans
三三五	二	celebree	celébrée
三三九	八	編歴	徧歴
三四〇	一	Meedervoort	Meerdervoort
三四〇	二	Jaaren	Jaren
三四五	10	;	:

頁	行	誤	正
三四六	一	o	of
三四八	四	produce	produces
三四九	六	des	de
三四九	10	sombre	sombré
三四九	一四	enlevent	enlèvent
三四九	一四	pieces	pièces
三五〇	八	ゐ	ゐた
三五〇	九	Jaaren	Jaren
三六〇	一三	誦町	踊町
三六二	二	大ノ月ならば三十一日	大ノ月ならば三十日
三六五	一三	末社を	末社は
三六九	10	諏諏社	諏訪社
三八五	一	委ク	悉ク
三九〇	六	遊治兒	遊冶兒
四一〇	三	折哀	折衷
四一四	六	廢せられるかつた	廢せられなかつた
四一七	一六	浦宮	浦安
四一八	三	よはひかちぬる	よはひかさぬる
四二三	九	繰縱	操縱
四二六	二	テツコフク	テツコフリ
四二六	三	諏訪の御船に	諏訪の御庭に
四二六	三	屋形ひらひて	屋形ひらいて

四二六 四二七		挿輪諏訪町の蛇踊	本籠町の蛇踊
四二九	三	弘化三年	弘化二年
四三三	一五	Veablijf	Verblijf
四四二	一四	参詣	参加
四五一	二	観請	勧請
四六三	一三	東濱町の龍船	西濱町の龍船
四七三	一二	昆盧佛	毘盧佛
四七九	六	lapel	lepel
四八五	三	盛宴な	盛宴を
四八五	10	1 tsten	1 sten
四八五	一三	zij	Zij
四九四	七	六月八日	六月十八日
四九八	一一	vooltooide	voltooide
四九八	一一	fees	feest
四九八	一三	diet	die
五一七	八	Philip	Philipp
五二〇	二	行列を	行列は
五二四	一三	退活	退治
五三七	六	鮮	鮮血を流す程迄
五四七	一三	引提ゑ	引提ゑ
五四九	一一	Katsuke	Katsuki
五六七	一三	止むので	止むるので
五七〇	七	取遣	取扱
五八二	六	Thunber	Thunberg
五八九	一三	Ètaler	Étaler
六〇二	一五	極貪	極貧
六〇八	五	Dahlmarn	Dahlmann
六〇九	六七	colegio	collegio
六一二	七	庭名	庭石
六一三	六	三郎買入れた	三郎の買入れた
六一六	一	長で崎は	長崎では
六一六	一	寺院聖や堂	寺院や聖堂
六一七	八	當地	當時
六三〇	10	享保	享保
六五五	一三	八僊燕式記	八僊卓燕式記
六五四	四	山東京山	岩瀬京山
六五八	一五	friter	fritter
六六一	一四	Japan	japan
六六二	三	Kastilie	Kastilië
六六二	五—六	葡語風に云へば pão de castilla	葡語風に云へば pan de Castella
六六四	一五	canfeito	confeito
六八三	五	Boedinghans	Boedinghaus
六八三	七	諸藩士	諸藩士
六九〇	九	同月二十二日	六月二十二日
七〇九	一五	またに	または
七一三	一三	玳瑇	玳瑁
七一三	一四	玳 瑇	玳 瑁
七一四	七	〃 〃	〃
七二〇	一五	(一四字目)無量	抹消す
七二一	五	海黄	抹消す
七三三	一	したであつた	したのであつた
七四三	二	產主	座主

上巻寫眞目錄

三	一四	楠木	楠本

參考史料目錄

一	一五	文書籍書	文書書籍
六	一〇	桑木戴雄氏	桑木彧雄氏
六	一六	城氏	城後一郎氏
六	一八	V. Pignatel	*V. Pignatel
一二	一二	喧嘩庇付	喧嘩疵付
一六	九	茶會	茶會
一三	二	雨中廼登叢	雨中廼登叢

追加

一三	一四	Charmela	Charamela
四三	一三	阿蘭語	阿蘭陀語
一〇三	七	アムスニルダム	アムステルダム

頁	行	誤	正
四八一	三	Coristian	Christian
四九五	六	Phoeton	Phaeton
六二六	一	薄遊稚載	薄遊雜載
六二六	二	於けるかく	於けるが如く
六三〇	一五	松浦東溪の長崎古今集覽名勝圖繪	石崎融思の長崎古今集覽名勝圖繪

△下卷正誤表追補（但し下卷正誤表印刷濟に付此處に記入す）

四五五頁一〇行の次に次の文章を挿入す。

唐人屋敷や阿蘭陀屋敷に出入する遊女、禿、遣手などは毎年二月朔日法度を申聞かせられたる上誓詞血判をなす仕來であつた。天明六午年二月丸山町寄合町兩町二名組頭日行使勤方書控に次の記事がある。

遊女禿共出島唐人屋敷江出入仕候者之儀に御座候得者毎年二月朔日家々相廻り遊女禿遣手抔迄相集御法度之趣堅可相守旨申聞候上誓詞血判爲致申候事。

長崎市史風俗編下卷正誤表

頁	行	誤	正
一〇	一三	長崎奉公	長崎奉行
一〇	一五	こゝ許され	こゝな許され
一三	九	何づれも	何れも
一四	一四	大阪	大坂
一七	四	Saikokf,	Saikokf,
一七	一〇	Nagaski	Nagasaki
四四	一三	tronble	trouble
四四	八	shonld	should
四四	八	thcn	then
四四	八	bc	be
四四	九	violcnt	violent
五三	五	名妙	名妓
六三	四	conld	could
六三	九	our Islands	our Island
六八	九	Sebold	Siebold
六八	一三	阿蘭屋敷	阿蘭陀屋敷
六八	一三	gezeyd	gezegd
六八	一四	mag	mag,
六八	一五	aau	aan
六九	一	éénmaal des daags	van éénmaal des daags
六九	九	miet	niet

頁	行	誤	正
七六	九	決して	抹消す
七七	一三	分娩の際も之を亦	分娩の際も亦之を
七七	一〇	道陶齊	道陶齋
七七	二	かざを	なぞを
八二	一〇	歸國毎年	歸國後毎年
八三	一三	伊駕	伊篤
八四	一三	熊本日日新聞	九州日日新聞
八五	一〇	唐人鬆	唐人髷
九三	一一	云ふもので	云ふので
一〇九	一三	領國時代	鎖國時代
一一〇	四	安政時	安政時代
一一三	一〇	鼓女	瞽女
一四三	一〇	本庄屋與助	本庄屋與吉
一四八	一三	料理さ	料理屋さ
一六八	一三	avends	avonds
一七〇	四	申出する	申出づる
一七二	一四	扇谷熊豐	扇屋熊谷
一七二	一五	防	院
一八八	一〇	諏訓社	諏訪社
二〇六	八	演場	劇場
二〇七	八	伴コト女	伴コトの女

頁	行	誤	正
二一七	二	行にはれ	行はれ
二二二	一一	また琴、胡弓は（シャンスクキョ）	また胡弓は（シャンスウキョ）
二三二	一七	相思曲	相思曲
二四〇	一三	こりひけひ〳〵	こりひけ〳〵
二五七	六	一瀬夫人	一瀬菊枝子
二五八 二五九	一	依賴	依據

附錄　長崎方言集覽

頁	行	誤	正
四	一一	Anjaemn	Anjaem'n
六	一一	Amane	Amame
六	一一	*Fonnamoucni*	*Fonnamouchi*
六	一一	Insect	Insecte
六	五	Thunbexg	Thunberg
七	一	anbc	anbe
九	一一	*yeuron*	*yeurou*
九	四	long temps	longtemps
九	五	Namason	Namasou
九	五	devenn	devenu
一一	一〇	和蘭衛字書	和衛字書
一四	六	珠球語	琉球語

頁	行	誤	正
一四	八	いけ牡丼	いけ牡丹
一四	九	vulgo	vulgò
一四	九	Igi	*Igi*
一四	一〇	Rose	Rosa
一四	一四	flors	flore
一五	一	いけ牡丼	いけ牡丹
一七	七	擔つ	擔ふ
一八	四	イトスル	イースル
二〇	七	產星	彥星
二〇	一〇	Ckurame	gurame
二六	五	分不相想	分不相應
二八	八	Tounberg	Thunberg
二八	一三	なます	なまり
二九	一五	いきぐさ	つきぐさ
三一	一〇	なども略さ	などと略ば
三三	一四	文撰	文選
三三	一四	Wagafiki	Wogafiki
三九	五	伐時	鮮征伐時
三九	六	鮮征在	在
四〇	五	カメヤマヤヤ	カメヤマヤキ
四〇	八	Laissant	laissant
四五	一三	キンキリウシ	※キンキリウシ
四八	一二	towosareta	*towosareta*

頁	行	誤	正
五〇	二	うつぶゝく	うつぶく。
五二	一三	Kndasare	Kudasare
五五	一一	on	ou
五五	一一	puple	peuple
五五	一一	asussi	aussi
五六	七	西遊旅潭	西遊旅譚
六三	九	eandie-zucher	candie-zucker
六七	九	l'rudent	Prudent
六八	八	on	ou
七三	四	Schanspiel	Schauspiel
七八	三	消然	悄然
八六	一〇	*Cǒ, Cǒta*	*cǒ, cǒta*
九三	四	Personme-paralysée	Personne paraly-sée
九三	四	ch	Ch.
九三	一〇	cu	ou
一一三	四	petir	petite
一一三	五	latable	la table
一一四	一三	lea	les
一一八	八	メタルノ	ナタルノ
一二四	三	琉球語の	琉球語の dō
一二五	一	therc	there
一二五	一二	Collogial	Colloquial
一二六	九	オンダチヤ	オンタチヤ

頁	行	誤	正
一三三	五	Nam conji	Namecouji
一三四	一〇	Ninjuuzoroyel	Ninjuuzoroye
一四〇	一五	*rou*	*rou*
一六一	一五	ean	eau
一六三	七	*Kechicacouron*	*Kechicacouron*
一七〇	一	目の一つなる化物	目の一つある化物
一七三	七	感歎	感嘆
一八八	七	represeuts	represents
一九〇	一〇・一二	尚ゲンの條參照	抹消す
一九四	四	卓語	卑語
一九五	三	持て	持つて
一九六	九	ジヨーギジヨーギ	ジヨーギ
一九八	七	ジヤウジキ	ジヤウシキ
二〇二	五	B音	R音
二一一	一五	*zo*	*cò*
二一一	一五	comme	comme
二一二	一五	laite	lutte
二二五	二	垂れてゐる折に	垂れて折々
二二九	二	vau	veau
二三〇	六	こけひけ	こりひけ
二三二	六	ユンスウ	エンスウ
二三九	一	胡弓に關する分全部抹消す	

頁	行	誤	正
二四〇	八	想思	相思
二四〇	一〇	蝦站	蝦蛄
二四四	一五	タアフワンケン	タアフワアケン
二五〇	一四	ツナンプウ	ツオンプウ
二五三	四	トイツウの條	抹消す
二五六	八	シタゲナノー	シタゲナノー
二五四	五・一〇	ナンキン ナンキンでら ナンキいも ナンキンジエス	〇ナンキン 〇ナンキンでら 〇ナンキいも 〇ナンキンジエス
二五六	一三	有糖	有糖
二六〇	三	一様(イ、ヤン)と云ひ様拳(ヤンシウ)	一様(イ、ヤン)と云ひ様手(ヤンシウ)と云ひ様拳(ヤンケン)と云ふ
二六〇	一三	薄餅(ピボン)	薄餅(ポピン)
二六二	八下	bautismo	bautismo (baptismo)
二六四	四上	Cannria	Canaria
二六四下	一一	castella	Castella
二六五下	四	compauha	companha
二六九上	一三	ガリアン	ガリヤン
二六六上	一五	rhetoria	rhetorica
二九九上	一三	Todos los Santos	Todos os Santos
二九九下	二	blance	blanc
三〇一上	二	bfromy	from
三〇三下	一五	Capitein leutenant	Capitein luitenant

頁	行	誤	正
三〇四上	一五	donker kamer	donkere kamer
三〇四下	一三	ヘネイスヘル	ゲネースヘル
三〇六下	一三	leutenant	luitenant
三〇七下	一〇	paanuw	pauw
三〇七下	一一	pakhnismeester	pakhuismeester
三〇八上	一三	長崎のブラシ	例。長崎のブラン。
三〇八下	八	スパンスボツケン	スパンスボク
三一三	一四	瓜	宸
三一〇下	一〇	大日本史科	大日本史料
三一〇下	一六	次の文を挿入す。	

murey と molleauz は同一であるか未だ判明せぬ。無量は molleauz に該當すれ共、元來蘭語ではなくて佛蘭西語であると思ふ。

Pierre Marin の著述に係る Dictionnaire François Et Hollandois の moelleux の條に

Une etoffe moelleuse, douce & maniable. Een zagt en wollig stof. とある。現代佛語に於ても moelleux と云ふ言葉は在る。「柔」を意味す。

△尚ほ大日本史料第十二編之十、二二一頁第二行に moleaux と綴つてある。

大正十四年十一月二十五日印刷
大正十四年十一月三十日發行

長崎市史風俗編　上、下卷

編纂兼發行者　長崎市役所

長崎市榎津町七番地
印刷者　藤木喜平

長崎市榎津町八番地
印刷所　藤木博英社

長崎市本博多町一番地
印刷所　重誠舍

不許複製

519
53/1

終